

機械器具 51 医療用嚙管及び体液誘導管
管理医療機器 間欠泌尿器用カテーテル JMDN36125000

スピーディ カテ コンパクト (女性用)

再使用禁止

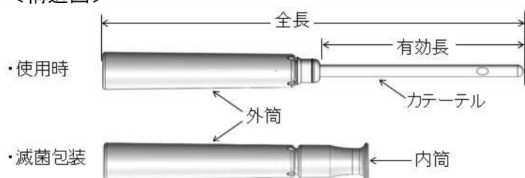
【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 本製品は女性専用です。男性の尿道には長さが足りませんので、使用しないでください。

*【形状・構造及び原理等】

尿道へ挿入される部分に親水性コーティングが施された導尿管カテーテルであり、滅菌包装内にはポリエチレングリコール等張液が封入されている。カテーテルの先端は閉じており、2つの側孔がある。尿道経由で膀胱に挿入し、間歇導尿に用いる。また、患者自身による間歇自己導尿に用いることができる。

<構造図>



カテーテルの材質：ポリウレタン
全長：14cm～15cm

外径 (CH/Fr)	外径 (mm)
8	2.7
10	3.3
12	4.0
14	4.7

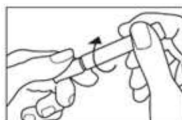
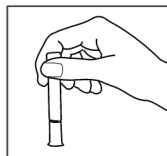
【使用目的、効能又は効果】

膀胱内に挿入し、導尿、採尿等を行うための尿誘導用カテーテルである。

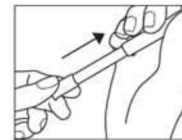
【操作方法又は使用方法等】

導入前の準備

1. まず手洗いを行い、尿道口周辺を清拭します。これは、手や性器からカテーテルに細菌の混入を防ぐために重要です。
2. カテーテルの包装を開封する前に、その他の導尿の準備が済んでいるかを確認してください。
3. 内筒を下にして垂直に持ってください。
4. 内筒を持ったまま、外筒をひねってシールを破ってください。



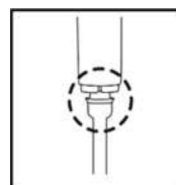
5. ゆっくりと外筒をロックされるまで引っ張り上げてください。



6. 外筒はカテーテルの持ち手となります。
7. カテーテルは内筒の内側に入っています。
8. カテーテルを出すために、外筒をしっかりと握りゆっくりと左右に振って内筒を外してください。



- ** 9. 外筒下の釣鐘状のパーツが見えていれば、カテーテルが完全に伸び、使用可能な状態であることを確認できます。これでカテーテルは使用可能な状態になりました。



10.

10. 内筒は廃棄してください。または空にして後でカテーテルを廃棄するために取っておいてください。
11. これでカテーテルの準備は完了です。

カテーテル挿入

自己導尿の場合

1. 片方の手で陰唇を広げ、尿道口を露出させてください。
2. もう一方の手でカテーテルを持ち、ゆっくりと約2cmずつ尿道へ挿入してください。
3. カテーテルが膀胱に入る直前、括約筋による抵抗を感じる場合があります。
4. 尿が流出されるまでカテーテルを尿道内に挿入してください。
5. 尿の流出が止まったら、カテーテルを1-2cm抜いてください。
6. 尿が再び始まった場合、数秒待ったのち、カテーテルを1-2cm抜いてください。
7. 尿の流出が止まったら、カテーテルをゆっくりと抜去してください。



**介助導尿の場合

1. 片手で陰唇を広げ、尿道口を露出させます。
2. カテーテルをゆっくりと患者の尿道内に挿入します。尿が始まるまでカテーテルの挿入を続け、尿の流出を確認したら、少しだけカテーテルを進め、尿の流出を待ちます。
3. この時点で陰唇から手を離し、片方の手を自由にすることも可能です。
4. 尿の流出が止まったら、カテーテルを1cmから2cmまで抜いてください。
5. 尿が再び始まった場合、数秒待ったのち、カテーテルを1cmから2cmずつ抜いてください。
6. 尿の流出が止まったら、カテーテルをゆっくりと抜去してください。

**廃棄

1. 本製品は単回使用製品です。
2. 使用後は、自治体のガイドラインに従って、廃棄してください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 本品を在宅等で患者若しくは家族が使用する場合には、本品の使用方法及び使用上の注意について医療従事者が指導を行ってください。
 - 従来と同様の方法で導尿したにも関わらず、膀胱からの尿の流出が見られない場合には、主治医にご相談ください。
2. 不具合、有害事象
 - その他の有害事象
下記の症状が現れた場合には、主治医にご相談ください。
 - ・ 発熱
 - ・ 膀胱を空にするときの不快感
 - ・ 頻回の尿意切迫感
 - ・ 血尿
3. その他の注意
 - 開封後は速やかに導尿を行って下さい。
 - 包装内の液体はしみや汚れになることがあります。
 - 単回使用製品の再使用は、患者へのリスクを高める可能性があります。
 - 再処理、再消毒及び再滅菌は、患者への感染、医療従事者への追加リスクの可能性があります。
 - 本品はトイレでの導尿用の製品です。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
直射日光及び高温多湿、凍結を避けて保管すること。
2. 使用の期限
直接の包装及び外箱を参照(自己認証による)。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者名
コロプラスト株式会社
住所：東京都千代田区九段 2-1-30 イタリア文化会館ビル

製造業者
Coloplast A/S (コロプラスト社)
国名：デンマーク



